

時間割コード	G1D11603	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)					担当教員	矢亀 尋美
英文授業名	Practical EnglishⅡ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	EⅠ【3】
講義室	共通教育56講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical EnglishⅠに引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験において求められるスキル（語彙力・文法力・リスニングスキル・リーディングスキル）の習熟にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	1. Orientation ガイダンス 2. Unit 8 Listening 3. Unit 8 Reading 4. Unit 9 Listening /小テスト(Unit 8) 5. Unit 9 Reading 6. Unit 10 Listening /小テスト(Unit 9) 7. Unit 10 Reading 8. Unit 11 Listening /小テスト(Unit 10) 9. Unit 11 Reading 10. Unit 12 Listening/小テスト(Unit 11) 11. Unit 12 Reading 12. Unit 13 Listening/小テスト(Unit 12) 13. Unit 13 Reading 14. Unit 14 Listening /小テスト(Unit 13) 15. まとめ、授業アンケート 16. 期末テスト						
(7)成績評価の方法	①小テスト、授業時に与えられる課題（40%） ②期末テスト(40%) ③TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.018 【上限10%】） ④「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。授業が滞りなく進めるようにテキストの予習や授業時に出された課題をやるようにしてください。また各ユニット終了後小テストがあるので、復習をかねてその準備をしましょう。						
(10)履修上の注意	・授業への積極的な参加が必要です。また、授業外の時間になるべく多く英語に触れる機会をつくるようにしましょう。英英・英和・和英辞典を常に持参してください。またオンライン上での活動もあります。 ・授業開始から30分までの入室は遅刻扱い、30分以降は欠席扱いとします。なお、遅刻3回で欠席1回とします。						
(11)質問,相談への対応	授業日（月曜日）の授業時間の前後の休み時間に講師室あるいは教室にて、またメール(hiyakm@shinshu-u.ac.jp)にて受け付けます。						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみな						

(12)授業への出席	しません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	タイトル：A COMMUNICATIVE APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST BOOK 2 Intermediate （コミュニケーションスキルが身に付くTOEIC L&R TEST <中級編>） 著者:Teruhiko Kadoyama, Simon Capper 出版社:SEIBIDO ISBN: 9784791972692 本体価格:2300円
【参考書】	指定しない。